

つばさの支援—社会関係障がいとは—

社会関係障がいとは、大阪府で独自に用いている用語であり、「中軽度の知的障がい者で、概ね青年期の年齢にあり、家庭や地域において生活及び社会的な習慣やルール、対人関係などの習得が困難なために生じる、反社会性や非社会性のある行動が顕著で地域での対応困難な状態」を指します。反社会性とは、窃盗や暴力、性加害などの犯罪行為や、社会規範に明らかに反した行為を意味し、非社会性とは、ひきこもりや集団不適応など社会適応が困難なことを意味します。

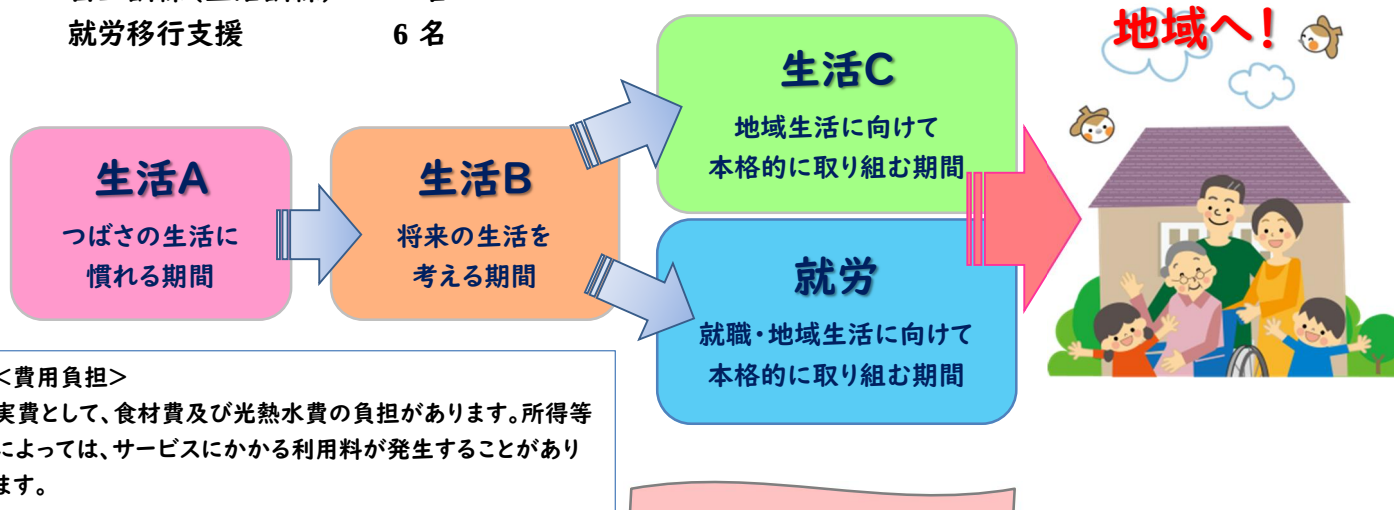


つばさの生活

つばさは、障害者総合支援法に基づいた指定障がい者支援施設です。3ヶ月に1回のモニタリング会議で、利用者一人ひとりの障がい特性に応じた支援内容を検討し、個別支援計画を見直します。

【定員】

施設入所支援	30名
自立訓練（生活訓練）	24名
就労移行支援	6名



1日の主な流れ

7:00	起床
7:15	朝食準備、朝食
9:15	朝礼、体操 ウォーキング
10:00	仕事
11:30	仕事終了
11:45	昼食準備、昼食
13:00	仕事 プログラム など
15:30	日課終了 おやつ
16:00	支援入浴
17:00	掃除
17:40	夕食準備 夕食 入浴
20:30	服薬
21:00	消灯 就寝

つばさの日課

【室内作業】

軍手結束やミシン作業など作業棟の中での仕事です。



【就労実習】

工場のライン作業や飲食店の調理の手伝い、草刈り作業など、外で就労実習をします。



↑不定期で畑の作業などしています。

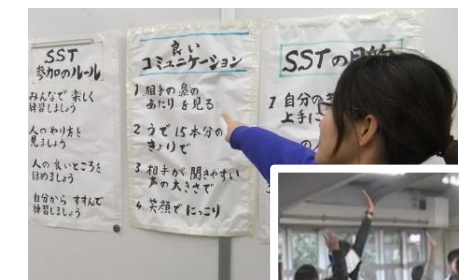


その他にも、毎月、環境整備やスポーツ活動などを行っています。
また年中行事では、納涼会やバスツアー、スポーツ大会などのイベントがあります。

特別支援プログラム

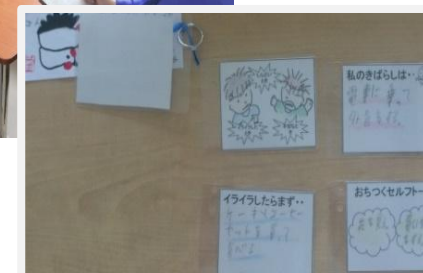
【SST】

（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）
生活を送る上で特に大切な6つのスキル、「聞く」「お礼を言う」「謝る」「頼む」「相談する」「断る」について、現実的に即した場面を設定し、ロールプレイを用いて練習をします。



【性学習】

性の問題の本質は「性を用いた暴力」です。正しい性の知識について学び、背景要因を明らかにした上で、性暴力を起こさないよう具体的な方法を考え実践します。



【ACT】

（アンガー・コントロール・トレーニング）
自分の気持ちが混沌とした状態が長く続くと不適切な行動を起こしやすくなります。それを避けるために、気持ちの理解やストレスの対処について練習をします。

【窃盗回避】

窃盗に至る背景要因や窃盗のメカニズムを明らかにし、窃盗を避ける方法を考え実践します。
ワークシートや日記などを用いて面接形式で行います。

つばさでは、
利用者一人ひとりの自己決定を尊重し、
将来、地域で安定した生活が送れるよう
支援します。

大阪府立砂川厚生福祉センター つばさ

<住所>

〒590-0525

大阪府泉南市馬場3丁目1566

<電話番号>

072-482-2881

設置・経営主体 大阪府

開設年月日 平成21年4月1日



大阪府立 砂川厚生福祉センター つばさ

